

平成28年度(2016年度)

管理事業名	青少年育成施策企画事業			総合計画の体系	第4章 第1節	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり 学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり				
主な歳出 予算科目	一般会計	(款)	10	教育費	(項)	5	社会教育費	(目)	2	青少年教育費
部局名	地域教育部	予算執行所属	青少年室							
予算大事業名	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名									
	青少年育成施策企画事業									
事業の目的と概要	青少年問題の総合的施策の樹立についての調査審議及びその施策を実施するために必要な関係行政機関相互の連絡調整を行います。									

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	成果指標の定義
協議会開催回数	回	0	2	0	青少年問題協議会事業の開催回数
成果の説明	学識経験者、公共的団体等の代表者、市民等で構成する委員が、総合的な青少年施策について検討しています。 平成28年度は協議会の開催がありませんでした。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成26年度	平成27年度 A	平成28年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常収入 小計(a)	-	-	-	-
給与関係費	1,548	915	714	△202
物件費	-	2	-	△2
維持補修費	-	-	-	-
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	-	-	-	-
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	-	-	-	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	121	61	62	1
退職手当引当金繰入額	△265	△733	50	783
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	1,404	245	825	581
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△1,404	△245	△825	△581
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△1,404	△245	△825	△581
一般財源充当額	1,835	1,119	840	△279
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	432	874	15	△859

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
給与関係費	職員人件費 714千円 平成28年度は協議会の開催がなく、委員報酬の支出がなかったため、給与関係費は減少しました。

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成26年度	平成27年度 A	平成28年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	-	-	-	-
行政サービス活動支出	1,835	1,119	840	△279
行政サービス活動収支差額	△1,835	△1,119	△840	279
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△1,835	△1,119	△840	279
一般財源充当額	1,835	1,119	840	△279
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の 主な内容

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
市民一人あたりの コスト	平成26年度	362,899 人	3.87 円	市民1人当たり 2.23円のコストがかかっています。 (実績値は3月31日現在吹田市民人口)
	平成27年度	367,510 人	0.67 円	
	平成28年度	369,522 人	2.23 円	
	平成26年度		円	
	平成27年度		円	
	平成28年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成27年度末 A	平成28年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成27年度末 A	平成28年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	61	62	1
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	61	62	1
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	固定負債	715	699	△16
土地	-	-	-	地方債	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	長期借入金	-	-	-
リース資産	-	-	-	退職手当引当金	715	699	△16
建設仮勘定	-	-	-	リース債務	-	-	-
無形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
固定資産	-	-	-	負債の部合計	775	761	△15
有形固定資産	-	-	-	純資産	△775	△761	15
土地	-	-	-				
建物・工作物	-	-	-				
建設仮勘定	-	-	-				
重要物品	-	-	-				
図書館資料	-	-	-				
投資その他の資産	-	-	-				
出資金	-	-	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-	純資産の部合計	△775	△761	15
その他債権	-	-	-	負債及び純資産の部合計	-	-	-
資産の部合計	-	-	-				

Ⅲ 財務構造分析

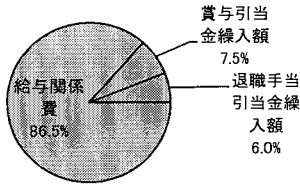
▽人にかかるコストの内訳

	常勤・再任用 月平均	非常勤 月平均	臨時雇用員 年間従事延日数	審議会委員等 実人数	合計(千円)
事業従事人数	0.1人	0人	0日	14人	825
給与関係費等	825千円	0千円	0千円	0千円	825
内、時間外勤務手当	0千円				

貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由

▽経常費用の構成割合



▽分析指標

(単位:%)

分析指標	年度	平成26年度	平成27年度 A	平成28年度 B	差 B-A
受益者負担比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		100.0	100.0	100.0	0.0

▽その他特記事項

IV 総括

▽分析結果の説明

コストの全額が人件費です。平成28年度は協議会の開催がありませんでした。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

学識経験者、公共的団体等の代表者、市民等で構成する委員が、総合的な青少年施策について調査審議しています。本市では、引きこもりや非行などを含めた課題を抱える青少年を支援するため、子ども若者育成支援推進法に基づく「吹田市子ども・若者支援地域協議会」を平成28年度に設置しており、この協議会や社会教育委員会議などの関係を整理するため、平成28年度は協議会の開催がありませんでした。今後、青少年問題を含む包括的な審議会の設置も含め、協議会のあり方を検討する必要があります。